

ハッ場ダム住民訴訟通信-36

08.04.03 発行

9609筆。全県から「無駄なダム建設からの撤退」「水道料金引き下げ」の声。

茨城県内 44市町村すべてから“怒りの思い”が届きました。

茨城県の水問題を考える市民連絡会が進めてきた「無駄なダム建設から撤退し、水道料金の引き下げを求める請願」署名が締め切られました。総数 9609 筆。特筆すべきは、茨城県内すべての市町村から届いたことです。さまざまな人の努力と思いが、県内すみずみに染みわたり、多くの人の心を動かし、良心と怒りのうねりとなって帰ってきたのでしょうか。9609 筆は珠玉の 9609 筆です。

3月県議会に先駆け、2月27日署名第一弾を提出しました。

請願署名は3月の議会に諮るため、開会日の2月27日、日本共産党の大内議員、山中議員の紹介で、桜井県会議長に提出しました。紹介議員の依頼は議会の全会派にしましたが、大内、山中の2議員だけが応えてくださったものです。なお、その後お送りいただいた署名は議会中の3月20日までにすべて提出させていただきました。

署名は県外の方々にもご協力をいただきました。厚く御礼申し上げます。

署名請願否決。ハッ場ダム工期延長は承認。茨城議会は闇のまま。

私たちは署名請願と時を同じくして、ハッ場ダム、霞ヶ浦導水事業、思川開発の工期延長を機に、湯西川ダムを加えた4事業からの撤退を求める要望書を、知事と議会に提出していました。議会の承認を必要とするハッ場ダムの工期延長は、3月13日に絶対多数で承認。署名請願は21日、これも絶対多数で否決されました。ちなみにハッ場ダム工期延長は、東京都と千葉県は委員会で7対8、6対7と接戦の末惜敗。埼玉県知事は「不快である」と意思表示。群馬県議会は超党派で「ハッ場ダムを考える群馬県議の会」を発足。それぞれ「恥を知る」動きが出てきました。茨城は闇の中。

私たちは要望書に続き、橋本知事へ「公開質問書」を提出。追求の手は緩めません。

次回、回答書を添えてお知らせします。私たちは民意を発信し続けます。

茨城の水問題を考える3連続シンポジウム

第一弾「那珂川の清流とアユ・漁業を考える」水戸シンポ沸騰！

ハッ場ダム住民訴訟。無駄なダム建設撤退と水道料金引き下げ署名運動。地を這うように広がってきた「茨城県の水問題」の炎が、霞ヶ浦導水の那珂川水門問題でめらめらと燃上がりました。私たち茨城県の水問題を考える市民連絡会と霞ヶ浦導水事業を考える県民会議、那珂川漁協、県民要求実現茨城共同運動は協議を重ね、茨城の水問題をあらゆる角度から考えることにより、県民全体の問題とすべく、シンポジウムを開くことを約しました。

3月1日、城里町桂公民館で行なわれた水戸シンポジウムはその第一弾。国土交通省の霞ヶ浦導水事業「那珂川取水口」強行工事発表を受けて、那珂川漁協、釣り人、環境問題に取り組む人。それぞれの立場から活発な意見が交わされ、茨城県民の良識もまた燃上がりました。

「先祖から頂いた那珂川の清流を守り子孫に残したい。漁業補償の問題ではない」那珂川漁協の人たちの思いが、茨城県の水問題を鋭く抉りました。

茨城県の水問題を考える市民連絡会は、ハッ場ダムをストップさせる茨城の会が中心の会です。

茨城の水問題シンポジウム - 2

取手シンポ「どうして高い。どうしてマズイ。私たちの水」

4月20日(日)午後1時30分 取手市福祉交流センター(取手市役所敷地内)

茨城の水問題シンポジウム-3「土浦シンポ」は5月開催予定です。

ハッ場ダムをストップさせる茨城の会事務局・神原禮二 tel/fax : 0297-72-7506